

総合型選抜

◇出願資格

次のA・B 2つの条件を満たす女子

A. 次のいずれかを満たす者

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した者及び2025年3月31日までに合格見込みの者
 - (5) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

B. 各学科の指定する外国語検定試験のいずれかの基準を満たす者(指定のない学科もある)

◇出願条件

学部	募集人数	学科	必要な外国語検定試験資格
家政学部	20	児童学科	—
	20	被服学科	—
	5	家政経済学科	※1
文学部	25	日本文学科	—
	10	英文学科	※1
	8	史学科	—
人間社会学部	3	現代社会学科	※1・※2いずれか
	10	社会福祉学科	—
	4	教育学科	※1～※3いずれか
	4	心理学科	※1

学部	募集 人数	学科	必要な外国語 検定試験資格
理学部	12	数物情報科学科	—
	12	化学生命科学科	—
国際文化学部	25	国際文化学科	※1～※3いずれか
建築デザイン学部	6	建築デザイン学科	※1
食科学部	2	食科学科	※1
	2	栄養学科	※1

※1このうちのいずれか

対象となる英語外部試験の名称	スコア
実用英語技能検定試験（英検）（CSE2.0）	2級以上の1950以上
TEAP（4技能）	225以上
TEAP CBT	420以上
GTEC	930以上
GTEC CBT	
ケンブリッジ英語検定	140以上
IELTS™（アカデミック・モジュールに限る）	4.0以上
TOEFL iBT®	42以上

※2このうちのいずれか

対象となる外部試験の名称	スコア
実用フランス語技能検定試験	3級以上
DELF	A1以上
TCF	100点以上
ドイツ語技能検定試験	3級以上
ゲーテ	A2以上
中国語検定	3級以上
HSK（漢語水平考試）	4級（195点）以上
TOPIK II	4級以上
ハングル能力検定試験	3級以上

※3このうちのいずれか

・外国において学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了した者(2025年3月までに修了見込みの者を含む)。ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。
・学校教育における12年以上の課程のうち、通算して3学年以上の課程を日本国外において修了し、かつ、その海外体験を通して、文化研究や文化創造に強い意欲を持つ者。

◇事前課題

児童学科
児童学科における学びは、「発達」「創造・文化」「社会・臨床」の3つの領域で構成されています。これら児童学の3領域から一つの領域を選び、それに関する図書を1冊読んでください。 (1) その図書を選んだ理由(400字) (2) その図書の内容の要約(800字) (3) 図書の内容に対するあなたの考えをまとめてください。(800字) なお、児童学の3領域について、および図書の選定については、児童学科のホームページに掲載されている専任教員の教育・研究活動などを参考にしてください。
家政経済学科
以下の資料を作成し、提出してください。1. は必須、2. は任意での提出です。 1. 自己推薦書(自由表現) 試験当日に行うプレゼンテーションのための資料として、自己推薦書(自由表現)を作成してください。【様式2-経-1】2枚以内で、プレゼンテーションの流れが分かるように、次の三つの論点(A～C)の内容を自由に表現してください。なお、三つの論点(A～C)の順番は、自由に入れ替えて構いません。 A) 本学科を志望する理由 B) 出願資格Aを満たす教育課程在学中に挙げた、以下①～③のいずれかの成果やその活動に関する自己アピール ①SDGs、ジェンダー、まちづくり、地域活性、災害復興、貧困、教育、環境問題等をテーマとする学内外での学習活動や社会活動(ボランティア、起業など)において、個人もしくは団体が挙げた成果 ②文化・芸術(音楽、美術、演劇、芸能、文学、放送、ディベートなど)、情報(プログラミング、ウェブサイト・SNS運営など)、スポーツ等の分野において、個人もしくは団体が挙げた成果 ③一つもしくは複数の科目の学修で挙げた成果 C) 入学後に本学科で取り組んでみたいこと(学業のほかに、社会活動なども可) 2. 自己推薦書の付属資料 これまでの活動内容を説明する資料や、自己推薦書の記載内容を証明する書類(各種試験合格証明書、賞状などを含む)を、【様式2-経-2】5枚以内で貼付してください(各書類や資料は、縮小コピーでの提出可)。もし、工作物や立方体、実技などにより書面での証明や説明が困難な場合は、その様子を収録した動画資料(3分以内)を作成し、Windows Media Playerで再生可能な動画ファイル(*.mpg, *.avi, *.wmd, *.wmv, *.mp4)を、CD-R、DVD-R、USBメモリのいずれかに入れて提出してください。

日本文学科

課題1『平家物語』巻十「海道下」

(本文(覚一本系)は日本古典文学摘集<https://www.koten.net/heike/gen/150/>でも読むことができる。) 覚一本『平家物語』巻十「海道下」の内容をよく理解した上で、自分なりの問題意識に基づいて、1,600字から2,000字以内(縦書き)で論じなさい。感想にならないように、以下の構成を意識して書くこと。

- 1) 問題提起: 本課題で明らかにしたいことを提示する。
- 2) 考察: 本文の内容や具体的な表現に基づいて分析する。
- 3) 結論: 何が明らかになったかをまとめる。

※参考資料、書籍などを引用するときには、引用があることがわかるように本文中で示し、出典を明記した参考文献リストを課題文章の末尾に記すこと。なお、このリストの文字数は、課題文章の字数には含まない。

課題2 菊池寛『恩を返す話』

(本文は青空文庫 https://www.aozora.gr.jp/cards/000083/files/495_19923.html で読むことができる。)

菊池寛『恩を返す話』の内容をよく理解した上で、1,600字から2,000字以内(縦書き)で論じなさい。感想にならないよう、以下の構成を意識して書くこと。

- 1) 問題提起
- 2) 分析・考察
- 3) 結論

※参考資料、書籍などを引用するときは、引用であることがわかるように本文中で示し、出典を明記した参考資料、書籍のリストを課題文章の末尾に記すこと。なお、このリストの文字数は、課題文章の字数には含まない。

課題3

次の【 】の表現は、使われる場面によって、その意味、用法が異なる。例文とそれが使われる場面を示し、その意味、用法の違いを1,200字以内で説明しなさい。

【「来られる」「来れる」】

次の構成を参考にすること。

- 1) 問題提起(なぜこの表現が取り上げられるのか)
- 2) 分析(場面と例文を示し、その意味、用法を分析する)
- 3) 結果(分析の結果を整理して示す)

注1) 例文、場面は必ず自分自身で考えたものを示すこと。

注2) 例文では「来られた」「来られます」「来られました」などの異なる形を使ってかまわない。

注3) 辞書を含む書籍、論文、Web上の情報を参考にした場合は、引用部分、参考部分がわかるように本文中に明記すること。参考にした書籍等の情報のリストは、本文の1,200字には含まず、別紙に掲載すること。

- ・解答用紙に課題を書き写す必要はない。
- ・1と2の解答は縦書きの様式【様式2-日】を使い、3の解答は横書きの様式【様式2-400】を使用すること。
- ・各解答用紙にはすべて氏名とページ番号(○枚中の▲枚目)を記すこと。縦書き様式には選択した課題番号も忘れずに記入のこと。
- ・縦書きは右上1ヵ所、横書きは左上1ヵ所をホッチキスで留めること。
- ・使用言語は日本語とする。
- ・なお、上記課題の内容に関する質問、課題図書へのアプローチに対する質問には一切お答えできません。

史学科

次の1～2の課題から一つを選び指示に従って解答してください。

課題1 以下の3つのテーマから一つを選び、本学史学科で学び、卒業論文で探求したい事柄と関連させながら、2,400字～2,800字以内で記しなさい（縦書き、横書きは自由）。冒頭に選んだテーマの番号を記し、末尾に解答の際に使用した参考図書・典拠を明示すること。写真や図表を付け加えても構いません。ただし、参考図書・典拠、写真や図表は上記の文字数に含めないでください。

1. 自身が生まれ育った地域、暮らしたことのある国（日本以外）、自身が関心を持っている国や地域等の歴史、文化、言語、宗教、思想や社会環境。
2. 博物館、美術館、図書館、資料館、文書館等で自身が出会った文物。
3. 成瀬仁蔵、広岡浅子、渋沢栄一、平塚らいてう、あるいはご自身の先祖や親族等で、本学ゆかりの人物。

課題2 以下の課題図書から一冊を選び、筆者の考えを要約した上で、自らの意見を記しなさい。全体の分量は2,400字～2,800字以内に収めること。課題図書の文章をそのまま使う（＝引用する）際は、必ず「」でくくり、その後（）をつけてページ数を明記してください。

白杵陽『イスラエル（岩波新書1182）』（岩波書店、2023年）

北村暁夫『イタリア史10講（岩波新書1766）』（岩波書店、2019年）

差波亜紀子『平塚らいてう：信じる道を歩み続けた婦人運動家（日本史リブレット人 093）』（山川出版社、2019年）

加藤玄『ジャンヌ・ダルクと百年戦争：時空をこえて語り継がれる乙女（世界史リブレット人 032）』（山川出版社、2022年）

国際文化学科については事前課題の提出は求めませんが、当日のプレゼンテーションのために下記の準備をおこなってください。

国際文化学科

海外、国内を問わず、志願者の高校までの「越境」につながる文化体験がどのようなものであったか、さらにそれを活かして本学科で何を学びたいのかについて、3分間のプレゼンテーションをしていただきます。外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）でプレゼンテーションしていただいても構いません。【様式3】のプレゼンテーション使用言語に○印をつけてください

◇試験科目

学科	1時限 (9:30～10:30)	2時限 (11:00～11:40)	3時限 (13:00～)
児童学科	小論文	—	口述試験
被服学科	小論文	—	口述試験
家政経済学科	適性検査 (基礎学力)	—	プレゼンテーション 及び質疑応答 (資料 等の持込み不可)
日本文学科	—	古文読解	口述試験
英文	小論文 (日本語)	—	口述試験 (日本語のみ)
史	口述試験		
現代社会	小論文	—	口述試験
社会福祉	小論文	—	口述試験
教育	適性検査 (基礎学力)	—	口述試験
心理	—	—	口述試験
数物情報科	適性検査 (基礎学力)	小論文	口述試験
化学生命科	適性検査 (基礎学力)	小論文	面接試験
国際文化	小論文	—	プレゼンテーション 及び質疑応答 (資料等の持込み不 可)
建築デザイン学科	空間表現		口述試験
食科学科	小論文	—	口述試験
栄養学科	小論文	—	口述試験